

渋谷区文化総合センター大和田



北東側外観夜景

「渋谷の新たな文化・教育・福祉・健康の拠点」

渋谷区文化総合センター大和田は「渋谷の新たな文化・教育・福祉・健康の拠点」を基本方針とし、区民利用を主としながらも広く人を集める施設として構想された渋谷区最大規模の公共複合施設です。渋谷駅から徒歩5分程の計画地は、学校統廃合により廃校となった区立大和田小学校の跡地であり、都心の限られた敷地に10以上の施設を集積し、使いやすく常ににぎわう空間として成立させることがプロジェクトの大きな課題でした。

建物の低層部には地域性の強い身近な施設、高層部には目的性の高い施設をあてる断面構成で整理し、吹抜けのある縦動線を伴った共通ロビーを中心に各施設をゾーニングすることで、交流や施設間連携を促す空間形成をめざしています。プラネタリウムは最上階の渋谷駅側に配置し、同フロアに設置した屋外観望スペースと併せて様々な天文体験ができる名所として認知されることで、施設の象徴性を高める役割を担うと考えました。

低層部の施設と関連しながら計画地の高低差を利用したアプローチ空間は、小学校であった時の既存樹木が残り、アートワークや黒板をモチーフとしたサインの設置とそれらを演出する照明計画により、オフィスや住宅が集積する地域に向けての憩いのオープンスペースになっています。



2階図書館よりアプローチ空間を望む

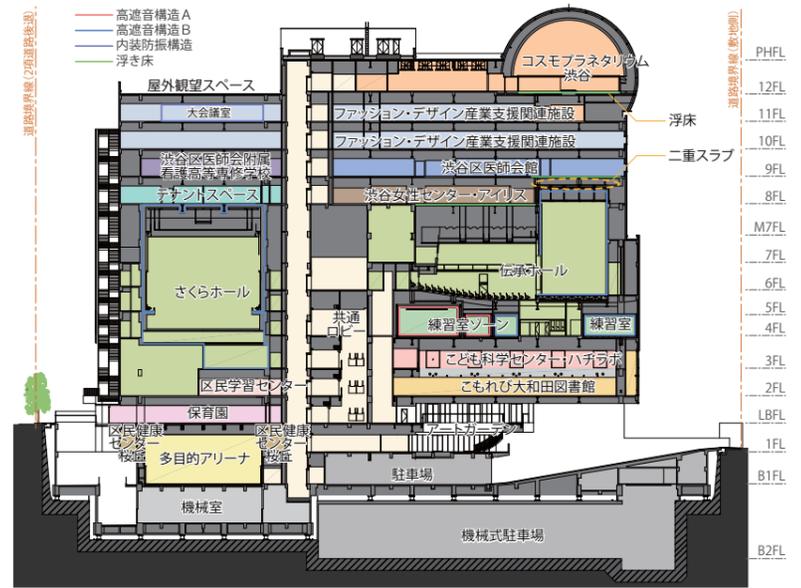
駅近くのシンボル

最上階にプラネタリウムのドームを冠した建物は、昼夜を通して誰にでもわかる渋谷駅西口からの新たなシンボルとなりました。

渋谷区文化総合センター大和田は、店舗・オフィスゾーンと住宅地ゾーンの境界に位置した、落ち着いた雰囲気のある桜丘地区における新しい街づくりを先導する施設です。端正で飽きのこない意匠の中にも印象的な照明計画等を盛り込み、開かれた公共施設として日常的な営みを感じられる外観計画を目指しています。



渋谷インフォスターより東側外観を望む



断面図(防振遮音計画図)

建物概要	
敷地面積	4,967.43 m ²
建築面積	3,020.27 m ²
述べ面積	27,402.60 m ²
建ぺい率	60.80% (許容 100%)
容積率	499.70% (許容 500%)
構造形式	SRC造 (一部S造)、免震構造
規模	地下3階、地上12階
駐車台数	計84台 (自走式8台、機械式72台)
用途	ホール、プラネタリウム、体育館、健康センター、保育園、図書館、学習センター、子ども科学センター、女性センター、医師会館、看護学校、ファッション・デザイン産業支援施設、事務所、店舗
写真撮影	三輪晃久写真研究所

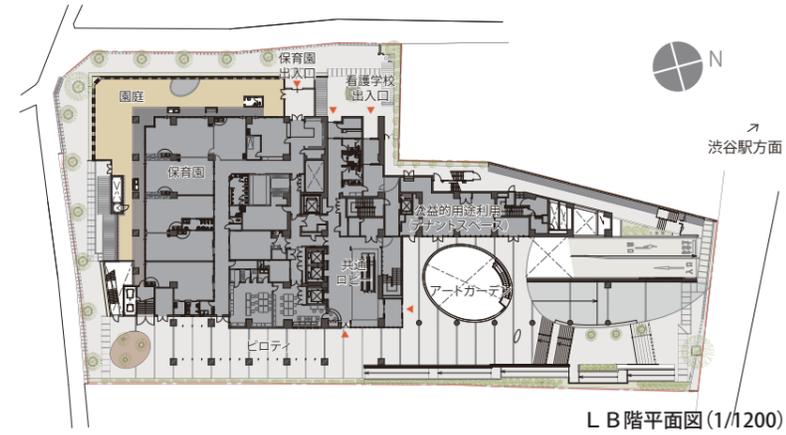


アプローチ空間であり、交流・憩いの場であり、文化・芸術活動の場であるオープンスペース

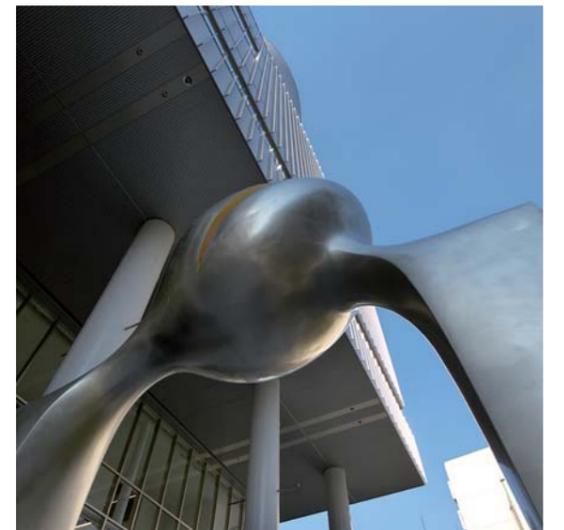
心地よいパブリックスペースの計画

施設の足元には、計画地の高低差を利用したオープンスペースが形成されています。この広場は各方面からの利用者を施設へ導くアプローチ空間であると共に、交流・憩いの場であり、文化芸術活動の場であり、災害時における来館者の安全を確保する場でもあります。

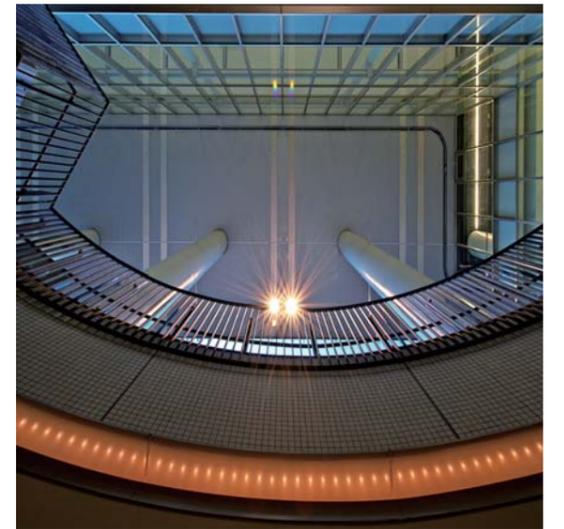
広場の中心「アートガーデン」に面して、開放的な図書館やこども科学センター、店舗が配置されます。緑やアート、黒板をモチーフとしたサイン等を配した空間は、施設と街をやわらかく結び付けながら、地域に憩いの場を提供しています。



LB階平面図(1/1200)



安田侃の彫刻越しに建物を見上げる



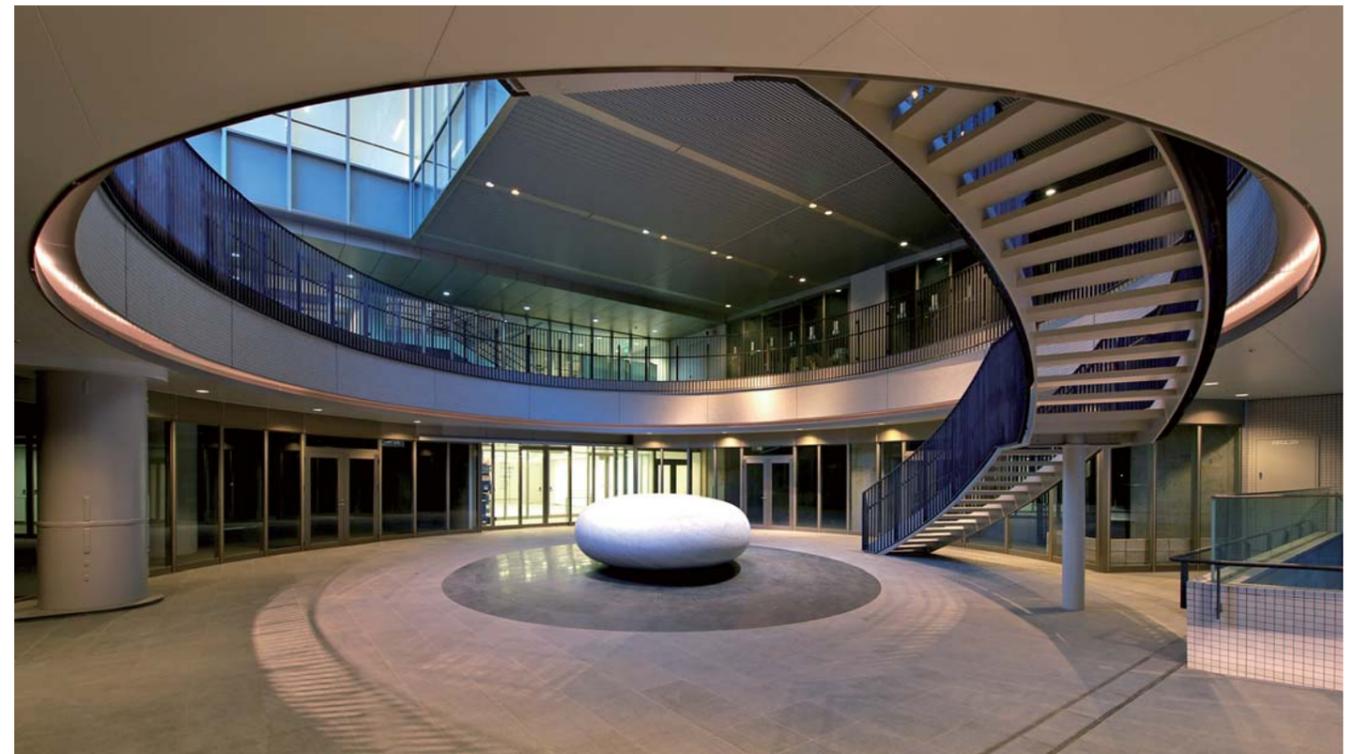
アートガーデン吹き抜け



南側広場空間



黒板をモチーフとしたサイン



2層の広場をつなぐアートガーデン

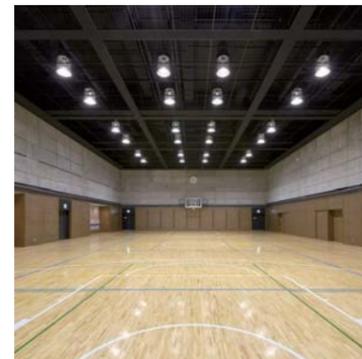


「使われる」施設づくり

他に例を見ない多用途且つ高密度な施設を集積を、共通ロビーを中心とした平断面構成の工夫によるシンプルでわかりやすい施設構成で実現しています。
 地域性・日常性の強い身近な施設を低層部に、目的性の高い施設を高層部に配置し、共通ロビーや吹抜け、縦動線を利用してそれらを有機的に結びつけることで、親しみ易く、施設間の機能連携や相乗効果が生まれやすい施設づくりにつなげています。



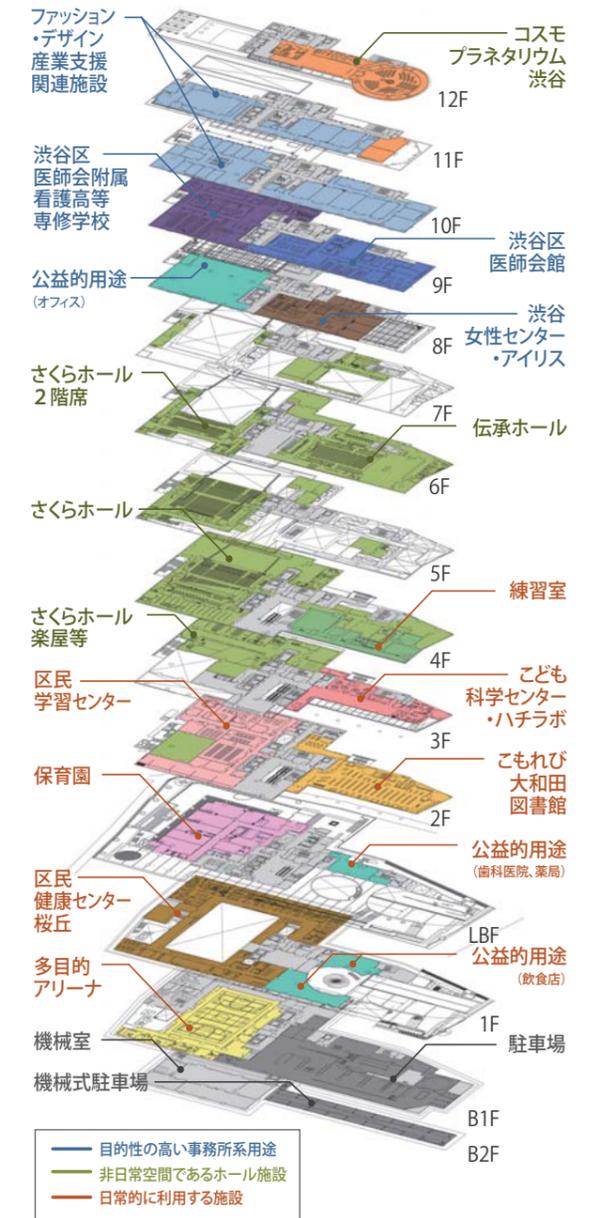
さくらホール入口のある共通ロビー4階



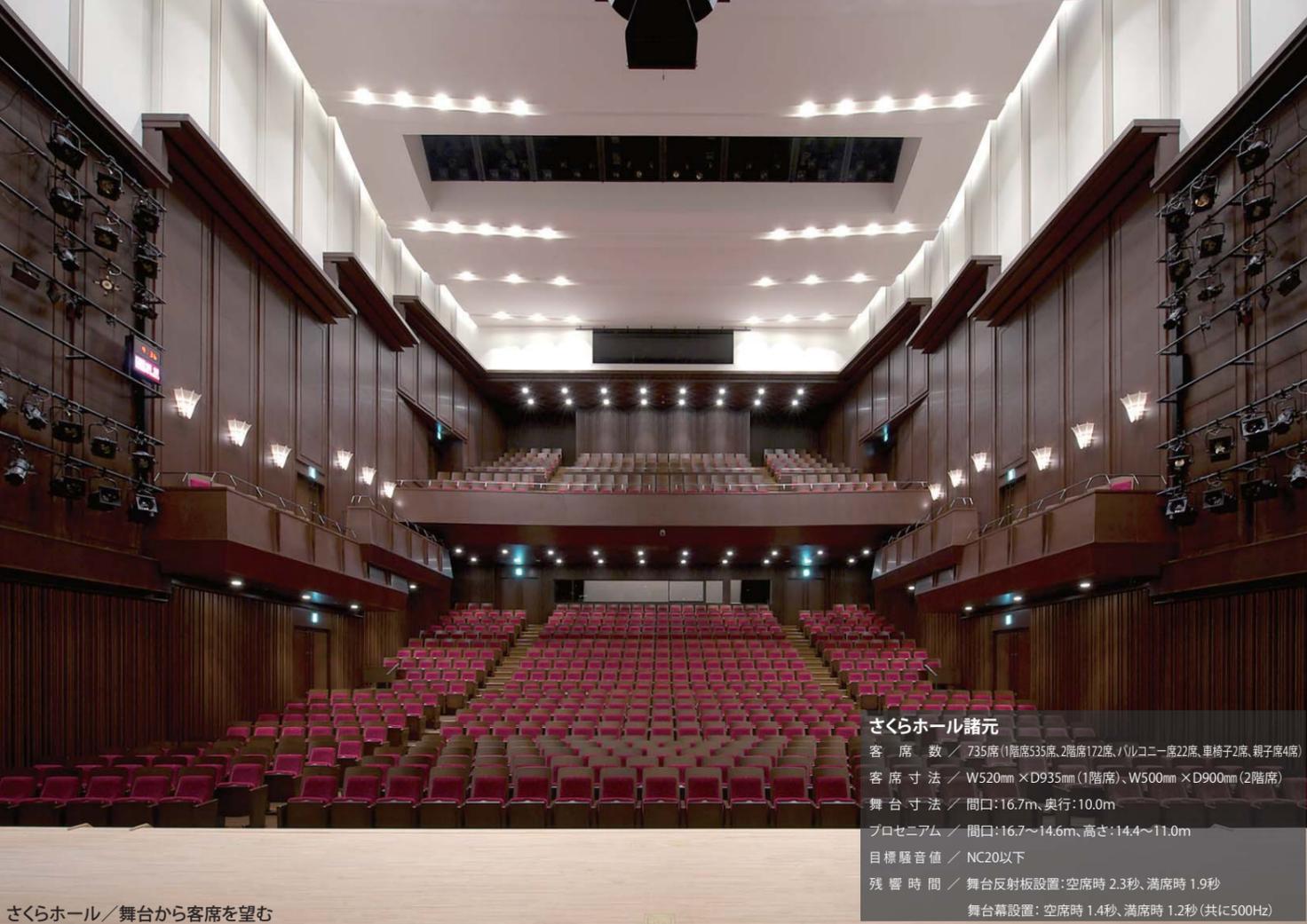
多目的アリーナ



コスモプラネタリウム渋谷



伝承ホール入口のある共通ロビー6階



さくらホール／舞台から客席を望む

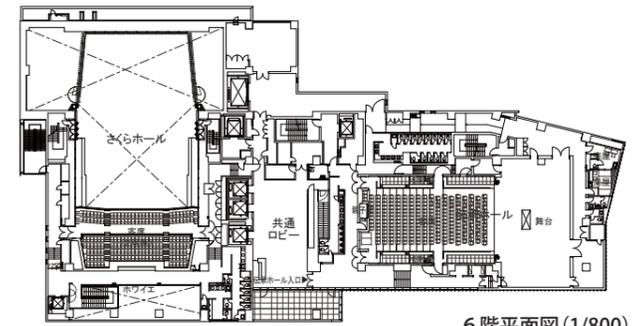
さくらホール諸元

客席数 / 735席(1階席535席、2階席172席、バルコニー座22席、車椅子2席、親子席4席)
 客席寸法 / W520mm×D935mm(1階席)、W500mm×D900mm(2階席)
 舞台寸法 / 間口:16.7m、奥行:10.0m
 プロセニウム / 間口:16.7~14.6m、高さ:14.4~11.0m
 目標騒音値 / NC20以下
 残響時間 / 舞台反射板設置:空席時2.3秒、満席時1.9秒
 舞台幕設置:空席時1.4秒、満席時1.2秒(共に500Hz)

文化創造拠点の創出

ホールゾーンは、クラシックコンサートから講演会まで幅広く対応できる「さくらホール」、伝統芸能も上演可能な「伝承ホール」の2つの多目的ホールと、区民の身近な創作活動の場としての大練習室、及び4つの練習室で構成されています。

最先端の設備を備えた「コスモプラネタリウム渋谷」やギャラリー機能や各種学習室のある「学習センター」などと合わせて、質の高い文化・芸術活動の場を形成しています。



6階平面図(1/800)

さくらホール

1層バルコニー2層客席の複床式による735席の多目的ホール。高品位な音響性能を備えた音楽主体のホールとして、十分な天井高と室容積を確保しています。また反射板設置時と幕形式時で0.7秒の残響時間差を有し、幅広い演目に対応できます。



さくらホールホワイエ

伝承ホール

伝統芸能の上演に相応しい緩やかな客席勾配と棧敷席を備えた345席の多目的ホール。幅広い演目、利用形態を想定し、照明用ブリッジやサイドギャラリーを有しています。舞台高さを低く抑え、舞台と客席の一体感醸成を重視した空間構成です。



伝承ホールホワイエ



伝承ホール(舞台膜、仮設本花道設置時)／客席から舞台を望む

伝承ホール諸元

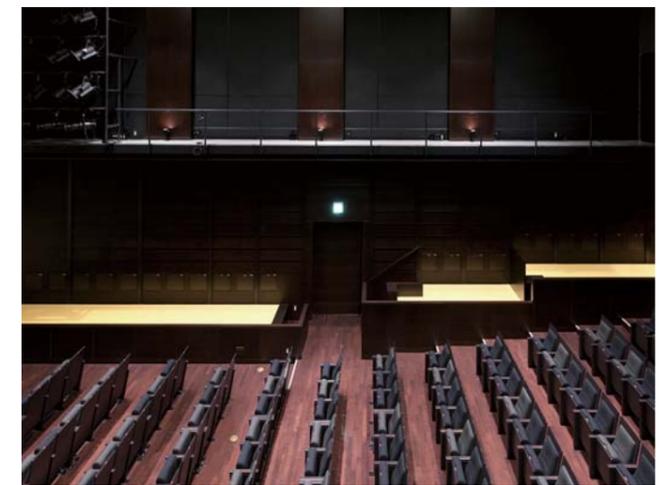
客席数 / 345席(通常席247席、棧敷席92席、車椅子2席、親子席4席)
 客席寸法 / W500mm×D950mm
 舞台寸法 / 間口:11.6m、奥行:10.8m
 プロセニウム / 間口:11.6~9.8m、高さ:6.0m
 目標騒音値 / NC20程度
 残響時間 / 舞台反射板設置:空席時1.5秒、満席時1.2秒
 舞台幕設置:空席時1.2秒、満席時1.0秒(共に500Hz)



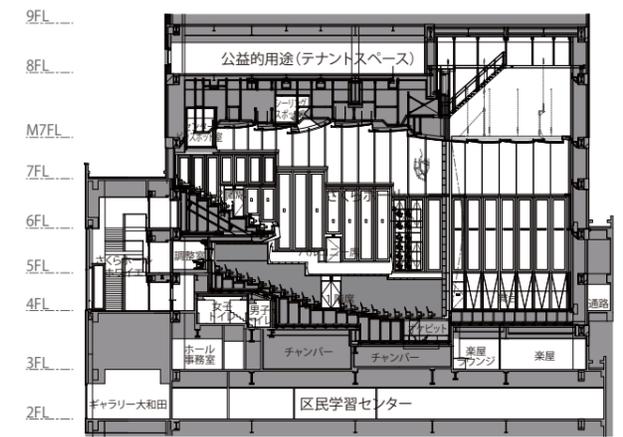
天井、壁取り合いディテール



サイドバルコニー席



棧敷席ディテール



さくらホール断面図(1/600)



伝承ホール断面図(1/600)